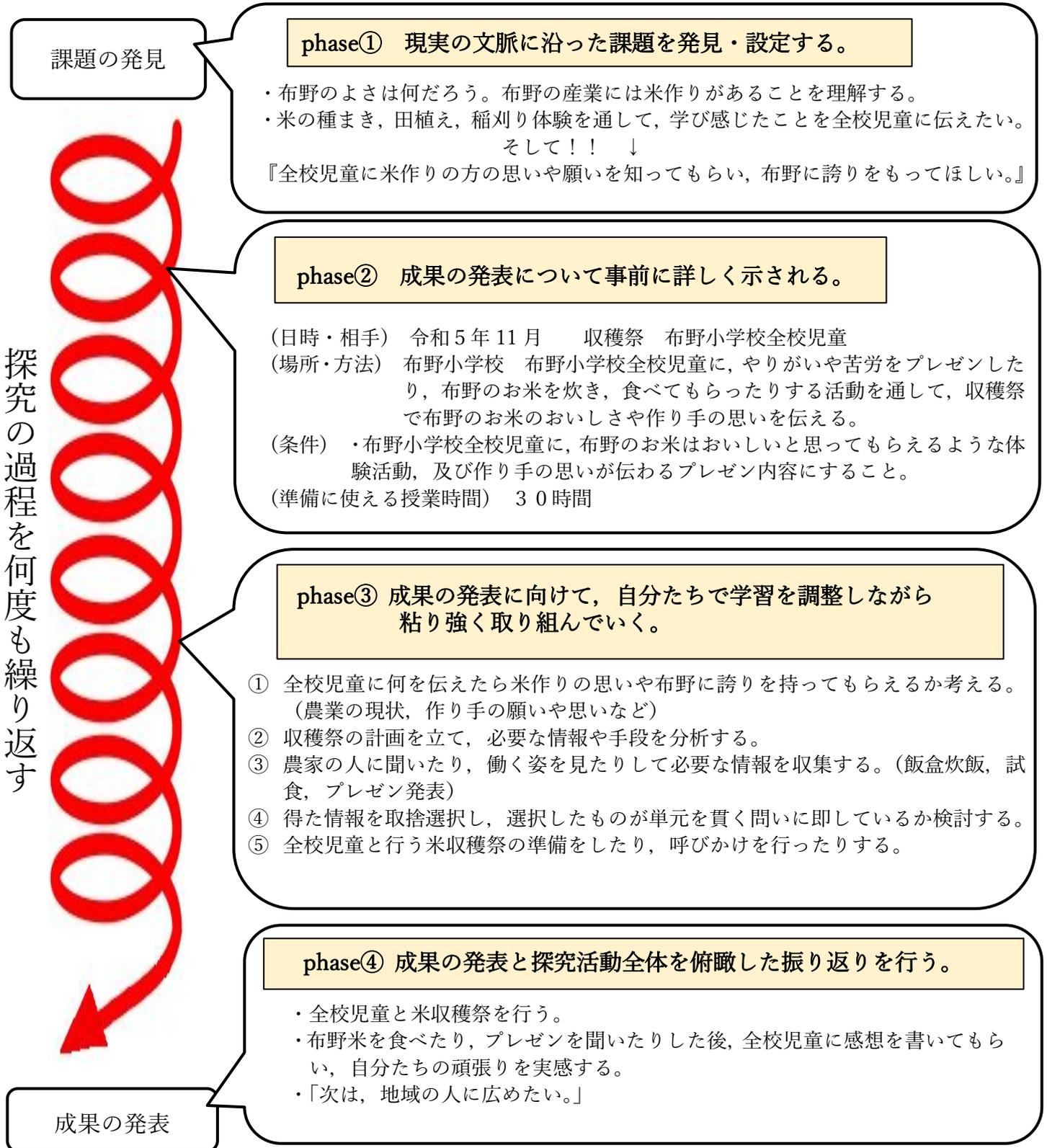


令和5年度 総合的な学習の時間のまとめ
【单元名】おいしい布野米めしあがれ！～米作り体験を通して～

1. 探究のスパイラル



連携した関係機関

- ・布野の農家の方々
(高尾さん角谷さん平岡さん下岡さん中篠迫さん福間さん溝口さん)
- ・JA ひろしま
- ・歴史民俗資料館 学芸員
- ・道の駅ゆめランド布野 升井支配人

2. 実際の活動の流れ

【phase①】

全校児童に米作りの何を伝えたいか、5年生で意見交流をし、自分たちにできることを確認しながら課題を発見し、設定した。

【phase②】

布野の米を全校児童に伝えるとき、学級を3つのグループに分け、1・2年生、3・4年生、6年生にそれぞれに発表するよう計画した。

【phase③】

農家の現状や作り手の思いや願いを聞くために、10月25日に農家の人へのインタビューを行った。11月9日に農協の人にインタビューを行った。

【phase④】

収穫祭として、歴史民俗資料館の学芸員さんに来ていただき10月19日に5年生、11月15日に全校児童で土鍋炊飯活動を行った。2月9日に全校に5年生が米学習の発表を行った。

12月13日に道の駅布野で米販売を行った。1年間を通して児童は米の種まき、田植え、稲刈り、もみすり活動を行った。また、収穫後は販売、試食活動を行い、生産から消費までの一連の体験学習を経験した。

3. 活動の様子

米作りを通して、布野の子どもに何を伝えたいですか。



phase③
農家の人へのインタビュー

おいしい米が出来上がるように、火おこしががんばるぞ。



Phase④
米収穫祭の土鍋炊飯活動

農家の方は、地域で力を合わせて、これからも米作りを残していきたいという思いを持っておられます。



Phase④
布野米についてのプレゼンテーション

4. 成果と課題

○米作りをしている方にインタビューしたことを全校に伝えたり、実際に食したりして、布野米に興味をもってもらうことができた。

○全校児童の振り返りから、自分たちの頑張りを実感することができた。

●全校児童が米作りについて、知りたいことをあらかじめ調査するなど、児童が興味のあることへの探究活動を今後考えていく。

●全校児童からの感想を交流しながら、来年度への見通しをもつ時間を確保する。

●JAの方と協力して米の等級検査を行うなど、味について、詳しく調査をしていくと、より科学的な面からもアプローチした探究的な学習となる。